

忘れてない？
サイフにスマホに
火の確認

防火ポスター優秀賞
亀山東小学校6年
林 里音さんの作品

この作品をA2判のポスターにして、
市内事業所などに配布します。



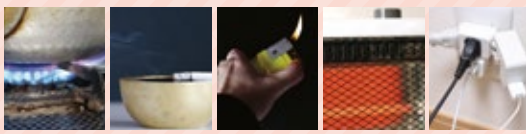
春の火災予防運動を 3月1日(金)～7日(金) 実施します

問合せ先 消防本部予防課予防グループ(☎82-9492)

平成29年中の日本の総出火件数は39,373件。そのうち建物火災は21,365件で、1日当たり約60件も発生しています。
この時季は、風が強く空気が乾燥するため、火災が発生しやすい気象条件となります。皆さんの家庭でも火の元を再点検し、火災予防に努めましょう。

主な建物火災の出火原因(全国)

出典：総務省「平成29年(1月～12月)における火災の状況」



こんろ たばこ 放火 ストーブ 配線器具

火災のタネは常に身近なところにあります。火から目を離さない、寝たばこをしないなど、直接的な火ダネに対する注意はもちろん、電気ストーブが原因の火災、配線器具のショートなど、電気による熱が原因の火災にも注意が必要です。

放火については、疑いのあるものを含めると年間5,000件以上もあり、燃えやすいものを家の周りに置かないなどの対策が必要です。

★住宅防火指導の実施

みどり町の一部のお宅を消防職員(消防活動服を着用、消防手帳を携帯)が訪問し、防火に関する相談、火気使用器具などの点検指導を行います。訪問日時などは自治会を通して案内します。

★小規模飲食店を訪問します

平成28年12月発生の新潟県糸魚川市の火災を踏まえ、消防法施行令が改正され、これまで設置義務のなかった150㎡未満の小規模な飲食店でも、平成31年10月から消火器の設置が義務化されます。対象となる小規模飲食店に消防職員が順番に訪問し、消火器の設置案内を行います。

★スプレー缶の廃棄方法にご注意！

平成30年12月に北海道札幌市で発生したスプレー缶に起因する爆発火災では50人以上が負傷するなどの被害が発生しました。スプレー缶やカセットボンベなどの廃棄方法には十分に注意してください。スプレー缶を廃棄するときは、使い切った後、屋外などの風通しのよいところで穴を開けてください。その際は、周囲への飛散にも十分注意してください。

★平成30年の亀山市の火災概要

平成30年の火災は27件で、前年に比べ2件増加しました。

建物火災のなかには、火災警報器が有効に作動したため火災を早期に発見でき、大事に至らなかった事例も確認しています。

項 目		29年	30年	増減
火災件数(件)	建 物 (住宅)	6 (4)	5 (3)	-1 (-1)
	林 野	0	0	0
	車 両	7	7	0
	その他	12	15	+3
	合 計	25	27	+2
死傷者(人)	焼 死	0	0	0
	負 傷	3	1	2

＜平成31年度 少年消防クラブ員を募集します！＞

少年消防クラブは、放水体験、ロープの結び方、煙体験、応急手当の方法、消火器の取り扱い、防災キャンプなどの体験を通じて、消防・防災に関する知識を身に付け、将来の地域防災を担う子どもたちを育成しています。

応募資格 市内に在住する小学4年生～小学6年生(新年度)

募集人数 25人(先着順)

申込期間 3月1日(金)～29日(金)

申込方法 申込用紙を記入の上、消防本部予防課へお申し込みください。

※活動内容など詳しくは、消防本部ホームページをご覧ください。消防本部予防課へお問い合わせください。

